

	新潟市教育委員会 平成26年9月 定例会会議録			
日 時	平成26年9月30日(火) 午後3時30分			
場 所	市役所白山浦庁舎7号棟 405会議室			
出席委員 (8名)	齋藤委員長	出席委員	眞谷委員	
	沢野委員		阿部教育長	
	吉村委員			
	織田委員	欠席委員	佐藤委員	
	伊藤委員			
	藤田委員			
会議に出席 した職員 (18名)	職・氏名		職・氏名	
	教育次長	渡邊 尚人	学校支援課長	高橋 恒彦
	教育次長	齋藤 博子	生涯学習 センター所長	三保 恵美子
	教育総務課長	上所 隆	生涯学習 センター次長	井関 一博
	学務課長	木村 綾恵	中央図書館館長	山川 正士
	施設課長	本間 寿晴	中央図書館 企画管理課長	松原 伸直
	保健給食課長	田中 薫	中央図書館 サービス課長	山下 洋子
	生涯学習課長	大竹 和浩	教育総務課 課長補佐	荒木 宣孝
	教職員課長	有本 秀雄	教育総務課係長	灰野 梢
	総合教育 センター所長	高地 啓衛	教育総務課主査	石田 貴宏
その他の 出席者 (0名)				

開会	時 刻	午後 3 時 3 0 分
	宣 言 者	委員長
付議事件 (0 件)	議案番号	件 名
報告 (3 件)	記 号	件 名
		平成 2 6 年度全国学力・学習状況調査 新潟市の結果について
		「新潟市立図書館ビジョン」後期施策・事業計画作成に係るパブリックコメント（市民意見募集）の実施について
		新潟市教育フォーラム 2 0 1 4 「今、教育について考える」事業報告について
協議題 (0 件)	記 号	件 名

第1 開会宣言

○委員長

午後3時30分開会を宣言する。

本日の定例会は、佐藤委員より欠席の連絡を受けております。既定の定数に達しておりますので、定例会を開会いたします。

また、本日、報道関係者より委員会を撮影及び録音したい旨、申し出がありますが、これを許可することにご異議はありませんでしょうか。

よろしければ、許可することで決定します。

第2 会議録署名委員の指名

○委員長

新潟市教育委員会会議規則第11条により、会議録署名委員に吉村委員及び織田委員を指名します。

第3 報告

○委員長

これより、報告案件に入ります。

「平成26年度全国学力・学習状況調査 新潟市の結果について」、学校支援課長に説明をお願いします。

○学校支援課長

本年4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果について報告します。

国語A，算数A，数学Aとは主として基礎的，基本的な知識のもの，国語B，算数及び数学Bは主として知識，技能を活用する問題です。

新潟市全体の状況は小学校，中学校のすべての教科で全国及び新潟県全体の平均正答率を上回りました。小学校はすべての教科で全国平均との差が過去最高となりました。また，設問別に見ると，国語A，B，算数A，Bともにほぼすべての問題で全国平均を上回っています。また，中学校でも2年ぶりにすべての教科で全国平均及び県平均を上回りました。設問別に見ても，それぞれ七，八割の問題で全国平均を上回っています。

続いて，今日に至るまでの取組みについて概要を説明します。新潟市の全国学力・学習状況調査の結果については，平成22年がこれまでで最も低い結果でした。そのため，学校支援課では児童・生徒の学力向上を喫緊の課題ととらえ，改善に向けた新たな取組みを開始しました。

まず，基礎的，基本的な内容の確実な習得のため，平成22年度よりWebを活用した単元問題の配信を開始しました。配信された問題を解くことで定着の不十分な内容を診断し，教師は指導力の向上に活かし，また，子どもたちを補充問題に取り組みせたりします。当初は小学校4年生，5年生の算数と中学校1年生の数学を年間6回で配信しましたが，現在は小学校3年生から6年生まで，中学校はすべての学年まで広げ，年間8回

配信しています。また、平成 24 年度からは理科の単元配信をしています。

次に、新潟市の目指す授業像を明確にして、教員の指導力向上につなげるため、平成 23 年度に授業づくりリーフレットを作成しました。このリーフレットを市内の全教員に配付し、それを基に指導力向上に取り組みました。その後、改訂版や実践編など内容を補完する資料を配付し、目指す授業像の周知徹底に努めています。そのうえで、平成 24 年度より指導主事が各学校を回る計画訪問のスタイルを変更し、2 年に 1 回、その学校のすべての学級の授業を参観し、全職員を指導する形に変更しました。そこでは、リーフレットで示した授業像を目指す取組みが各学校で確実に行われているのかを確認したり、公開された授業を基にその手立てを具体的に指導することに努めています。また、このような取組みに加えて、各学校で授業研修に主導的な役割を担う校長や研究主任を対象とした研修会等も実施し、リーフレットに基づいた指導力向上の取組みが日々図られるように努めています。

これらの取組みの成果が、平成 24 年度以降、全国学力・学校状況調査の結果として徐々に表れてきているととらえていますが、今後も取組みをさらに強化し、新潟市の児童・生徒一人一人により一層確かな力をつけていきたいと考えています。

○委員長

今の報告について意見、質問はいかがでしょうか。

○吉村委員

要望を 1 つ申し上げます。今回の結果についてのまとめですが、もう少し具体的に、学校現場がこのように取り組んだのでこういう成果に結びついた、というように分かりやすい表現をしていただきたい。

例えば授業改善について、学校側が協力して頑張ったということはよく分かるのですが、各学校の具体的な取り組みが記載されると、現場のほうも一層やる気が出るのではないかということを感じました。

○学校支援課長

具体的な施策に基づいて、教員一人一人が努力をしたり、学校全体で一丸となって取り組んだことが成果として表れてきているということよろしいですか。

○吉村委員

おそらく各学校でまだ差があるでしょうし、なかなか伸びない学校は、校長先生から教職員まで皆さんが悩んでいることと思います。

学校間で連携し切磋琢磨しながら授業改善をしたり、どうすれば成果が上がるかを校長同士で検討するとか、そういう姿勢が一番大事だと思います。

行政側からの指導や要求だけではなく、先生方も頑張ってい

るところがあるので、そこも表現をしたほうが良いのではと思います。

○学校支援課長

小学校長会，中学校長会とタイアップをして，授業力向上マネジメント研修というものを実施しています。校長会の了解をいただいて，連携してやっている事業についても掲載するというところでよろしいでしょうか。

○吉村委員

頑張っているけれど，なかなか成果に結びつかなくて悩んでいる学校は，成果が上がっている学校に直接聞いてみるなど，そういうことが浸透してくると，努力が成果に結びつくのではないかと思います。

学校の数値についてとやかく言う気はありません。成果が上がらないところはそれなりに悩んだうえで，このような取組に出たというその仕掛けを評価してあげたほうが良いということです。

○沢野委員

各学校でこんな取り組みをしていると，情報交換する場はないのでしょうか。

○学校支援課長

毎年，結果が8月から9月に出ますので，それを自校で分析をします。これまでの成果と課題，そして来年に向けて重点を置くこと，それをレポートにまとめて持ち寄る会を10月末に小中の校長が行います。

今年は11月に，校長が打ち出した方針を，教頭がどのようにマネジメントをしていくか。翌年1月，2月には，教務主任，研究主任が教育課程にどのように反映させ，校内研修にどのように反映させるかと，系統立てた研修を行います。このようなスタイルにしてから4年目になります。

○沢野委員

そういう部分も成果が上がっているということですね。

○学校支援課長

校長の基本的な方針を受けて，それを職員がどのように組織的に受けていくのかということが系統的，組織的になるような研修を校長会と連携して行っています。

○伊藤委員

先日，マイスターの理科の授業を拝見し，忙しいため参加者数が少ないというような話を伺いました。理科について問題をWeb配信するようになったり，リーフレットを活用してもらっているとのことですが，そういうものだけではなく，実際によい授業の刺激を受けて，單元ごとに新しい具体的なアイデアに触れられるように，先生たちにもっと参加していただいて，実践していただきたいと思います。

とてもいい授業でしたから，更に活用されるよう期待します。

○学校支援課長

マイスターの所管の総合教育センターとも連携しながら進めておりますので，今の意見を参考にしたいと思います。

○委員長

そのほかにかがですか。

Webによる単元問題配信というのは、具体的にどのようなものですか。

○学校支援課長

例えば算数の場合、一つの単元の中で重要となる要素を含んだ問題を10問作り配信します。もう1枚は、問題を指導していくときのポイントを教師側に配ります。

基礎については、子どもたちに着実に身につけてほしいという10問です。例えばこの繰り上がりが間違いやすいといった重要な要素を持っている10問にしています。教師側の指導のどこが不十分だと子供が理解しにくかったか、また、ここをきちんと押さえればどの子にもきちんと理解させられるといった問題にしています。

それを年間8回配信して、各学校が診断し、ほとんどが確かな力としてついているか、それとも2問目と8問目を大勢誤ったときに、なぜここは自分の指導でうまくいかなかったのか、ということが違うポイントで見られるような形にしております。

○委員長

この問題に関しては、こういう教え方をすべきだというチェックもできるし、それに対する反応の差もチェックできるということですね。10問はどこが作成するのですか。

○学校支援課長

問題は、基本的に学校支援課の指導主事が作成しています。

さらに補充問題として類似問題も配信していますので、時間に余裕があるところでは活用してもらっています。

○委員長

「委託事業」と書いてあるのは配信業務の委託ですね。どこかの業者が問題作成などをやっているわけではないのですか。

○学校支援課長

問題はこちらで作っています。配信システムを契約して借りています。

○委員長

このWebの単元問題配信というのは、新潟市以外でも全国でも行われているのですか。

○学校支援課長

いくつかの都道府県で行われています。秋田を参考にさせていただきました。

○委員長

全国学力・学習状況調査の結果は、新聞等に発表されましたね。それ以上のものを、一般の人が見ることができるのですか。

というのは、昨日、東区教育ミーティングに参加しましたが、新潟市の中で東区のレベルはという質問がありました。一般の方は、各区分のものを見ることはできないのですか。

○学校支援課長

全体の結果については、ホームページにも掲載してあります。

各区については、8区すべてをお知らせする形ではなくて、中央区の方には中央区と新潟市全体の情報を、東区の方には東区と新潟市全体の情報とというように、該当する区についてお

示ししています。

○委員長

市全体の平均と、東区の平均を比較できるわけですね。

○学校支援課長

すべての区を公表すると、文部科学省が一番気をつかっている競争や序列化につながったり、頑張った子が意欲をなくしたりして、子どもたちの心を痛めてしまうことがあります。そのようなことに配慮して、最低限の説明責任が果たせるように情報の提供方法を工夫しています。

○眞谷委員

全学級を参観する学校訪問へ改善することによって、指導を徹底するという取り組みについてです。

小学校は先生が全科目指導されるのでいいのですが、中学校の場合、国語、数学だけ徹底して指導されるとなると、ほかの教科の先生はやる気が失せたりしないでしょうか。そこはどうか。

○学校支援課長

国語、数学だけを対象にしていると、やはり意識が上がりません。そこですべての教科を見て、共通するところを指導事項としてやっております。

今、一番力を入れているのは、何を学ぶのかという1時間のねらいです。学習課題と関係させて、すべての教科できちんと子どもたちが意欲を持てる課題になっているかどうか、また、それが授業の終末でどの子にもきちんと強化し取得させるべき知識がどれだけきちんと身についたかどうか、みとれたかどうか、そういうところに視点を置いてやっています。

理科でも英語でも、一緒に協議ができるようになっていきます。

○眞谷委員

指導主事は、国語、数学だけではなくて、全科目をご覧になっているということですね。

○学校支援課長

そうです。さらに、国語だけとか、理科だけ特にやりたいというときは、計画訪問ではなく要請訪問というように別の機会を作り対応しています。

○委員長

そのほかに意見、質問はありませんか。

次の報告案件に移ります。

『新潟市立図書館ビジョン』後期施策・事業計画作成に係るパブリックコメント（市民意見募集）の実施について、中央図書館企画管理課長に説明をお願いします。

○中央図書館企画管理課長

パブリックコメントの目的は図書館ビジョンに基づき、平成27年度から平成31年度に実施する後期施策事業を作成するにあたり、市民意見を募集するためです。

募集期間は平成26年10月7日から11月6日といたします。ほかのパブリックコメントの募集にならって実施しますが、市内の19図書館においても配布、回収を行います。

意見の取扱いについてですが、意見をいただいた方に、個々

の回答は差し上げませんが、各館の閲覧や図書館のホームページ等で公表することにしております。

作成のスケジュールです。前期事業の評価・分析をし、課題を把握し、事業計画案を作成し、パブリックコメントを募集し、その修正を加えて決定する流れとなります。今後、成案ができましたら意見をいただきたいと思います。

議会にもパブリックコメント実施の報告をし、図書館協議会にも説明をして、意見をいただく予定です。

今後の取組みの方向（後期：平成 27 年度～平成 31 年度）です。（1）新潟市の目指す図書館像の実現に向けてに、4 項目のサンプル事業を掲げました。

ア、ネットワークを活かした「課題解決型図書館」では、施策が3つあります。2つは前期から継続となります。新しい事業に、電子図書館としての機能を整備することとしました。

イ、特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」では施策が3つありますが、それぞれ前期から継続する事業です。

ウ、子ども読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」では、今年度、新潟市子ども読書活動推進計画が最終年度であり、現在、有識者の委員会を開催し、来年度からの第二次計画を策定中です。そこで審議されている事業計画がここに記載されておりますが、それも確定しましたら、その成案を図書館ビジョンに盛り込む計画です。

エ、市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」では、施策は2つで、いずれも前期からの継続です。この項目では、魅力ある図書館事業を展開するうえで、とりわけ民間での連携・協力を一層進める必要があると考えております。

（2）効率的、効果的な運営に向けてですが、施設の利用者ニーズが多様化する中、図書館サービスの拡大が求められている一方で、限られた予算や職員による効率的な図書館運営が必要となっております。今後も継続して効率的な運営を進めていく必要があると考えています。

評価についてですが、これまでも図書館内部による内部評価、市民の代表等で構成しております図書館協議会では委員による外部評価を毎年行ってきており、その結果はホームページ等で市民に公表しておりますが、今後さらに図書館運営や活動実績を市民に身近に知っていただけるように努めてまいります。

○委員長

今の報告に関して意見、質問があればお願いします。

○伊藤委員

提出された意見の取扱いについて、ホームページで公表することですけれども、概ねいつ頃になりますか。

タイムスケジュールには募集期間後、結構早く案を作成、修

正と記載されているので、進めながら、意見をまとめながら公表という同時進行になりますか。

○中央図書館企画管理課長

目安としては12月か1月くらいを考えています。

○委員長

ほかにありませんか。それでは次の報告案件に移ります。

「新潟市教育フォーラム 2014『今、教育について考える』」事業報告について、教育総務課長から説明をお願いします。

○教育総務課長

9月5日開催しました、教育フォーラム2014「今、教育について考える」について報告いたします。

本年度から始まりました教育委員の担当区制など、本市の進める教育や教育改革についての周知と理解を深めていただくために、市民の皆様への啓発を目的に実施したものです。

当日は、元文部科学大臣政務官の義家さんを講師としてお招きし、ご自身の教育への思いと今日的な教育課題とその解決策、また国の進めている教育改革などを語っていただきました。

また、トークタイムでは、「新潟市が進める教育改革」というテーマで、はじめに事務局から10分程度説明をして、その後、義家さん、コーディネーターの山岸さん、市長の3人で鼎談を行っていただきました。その中で、地域と学校パートナーシップ事業の実際と今後のあり方、本市の教育改革への期待など多くの有益な話をいただきました。

入場数は376人で、そのうち一般市民は162人と全体の43%となっております。

アンケートの結果については回答者が310人と、回収率82.4%です。講演では「とてもよかった」が63.6%、「よかった」が30.5%、またトークタイムと両方合わせて95%を超えるなど、肯定的な高い評価をいただきました。自由記載欄では、アンケート評価のとおり、好意的な感想、意見が多数でした。

このような実施状況及び、アンケート結果より、教育フォーラムの目的は達成できたものととらえております。

なお、フォーラムの実施内容については、教育委員会の広報誌である「にいがた共育通信」12月16日第35号やホームページにて発信していきたいと考えております。今後も市民の皆様のご理解とご協力を得ながら、本市が進める学・社・民の融合による教育の取組をより一層推進していきたいと考えております。報告は以上です。

○委員長

この件に関して、意見、質問がある方はお願いします。

○伊藤委員

参加者が多いなという会場での印象でしたが、参加申し込み・当日入場者数を見ますと、一般の方の申し込みで199人、入場者数が162人とけっこう大勢の方がいらっしやっただんな

ということが分かりました。

当日、事務局が説明した部分が、時間も中身も多かったように思ったのですが、手元への配付資料がありませんでした。参加者が、学校関係者や私たちのようにすでに知っている人が対象のためでないのかと思いました。

市民の方もいらっしゃったのであれば、非常に中身がよく、簡潔な説明でしたので、概要の資料が添えられていたらさらに理解が深まったのではないかと思います。

こういうおりには、配布資料をご準備いただければという感想でした。

○教育総務課長

市民の方からのアンケートの中でも、新潟市が取り組んでいる説明について初めて知ったというところで評価いただきました。そのアンケートの中でも、手元に資料があればもっと理解できたという意見をいただいたところです。委員の今の意見を参考に、今後の教育フォーラムの資料についても、市民の方が分かりやすいフォーラムになるように工夫していきたいと思います。

○委員長

参加申し込み・当日入場者で、学校関係者 171 人が入場となっていますが、具体的に、事務局から各学校にはどのように呼びかけたのですか。平日の開催でしたが。

○教育総務課長

新潟市が取り組む教育フォーラムは、市民の方はもとより、学校関係者の方からもこういう動きがあるのだということを知っていただきたいということで、ポスター、チラシを学校に配布させていただきました。

ただ、当日は学校の授業のある日ですので、強制ということではなく、それぞれの自主的な判断の中で、ご都合がつく方はおいでくださいというふうにご案内させていただいたところです。

○委員長

171 人の学校関係者は、全て教員の方ということですか。

○教育総務課長

P T A の方もこの数字に入っています。また、地域教育コーディネーターも学校関係者ということでこの数字に入っていますので、教職員の方だけではありません。

○委員長

先ほど自主判断と言われたけれども、例えば各校長先生や教頭先生にはどのような呼びかけをされたのですか。

○教育総務課長

先ほど申し上げたとおり、こういったものが開かれますという情報提供で、動員ではありませんとお話させていただいています。

○委員長

この時間、授業や部活動のない先生はどうぞいらしてくださいということですか。

○教育総務課長

はい。教職員の皆さんからも積極的に参加していただきたい

と考えていました。これまでは、学校が休業の土曜日、日曜日をフォーラムの開催日に設定してきましたが、今回、講師、市長、関係者の日程がこの日しかなく、やむなく平日に開催しました。

○委員長

アンケート結果で、件数は少ないのですが、「よくなかった」という方がいらっしゃいますが、例えばどういうところがよくなかったのですか。

○教育総務課長

自由記述で、それぞれの講師の教育論の主張が強いのではないかとというようなところが「よくなかった」とありました。

○委員長

講師の考え方ということですか。

○教育総務課長

そこが強く出ているのではないかとありました。

○委員長

こういう立場の人間を呼んだということに対する批判などはなかったのですか。

○教育総務課長

そういった記載はありませんでした。

○委員長

そのほかに何かありますか。

それでは、これで報告案件は終了いたします

第4 次回日程

○委員長

次回の日程について説明を求める。

○教育総務課長

では、これから日程の報告をいたします。

10月定例会は10月29日水曜日午後3時30分から、11月定例会は11月20日木曜日午後3時30分から、12月定例会は12月18日木曜日午後3時30分より予定しております。

第5 閉会宣言

○委員長

午後4時10分、閉会を宣言する。

以上、会議のてん末を承認し、署名する。

署名委員

署名委員